

Builder guide

機能性とデザイン性を兼ね備えた
自分らしさや憧れが叶う住まい



信州の気候に適した輸入住宅を手掛け続けている「宮田工業」。「コミュニケーションが豊かになる我が家」をモットーに、ゆったりと心地よく暮らせる住まいを提案している。輸入住宅ならではのデザイン、高気密・高断熱が可能にする開放的な空間、2×6工法の高い耐震性はもちろん、自社設計によるワンストップの家づくりでサポート力も高く完成後も安心。まずは、モデルハウスを見学して輸入住宅の魅力を体感して。

Information

「川中島モデルハウス」に行ってみよう!



長野市川中島町にあるモデルハウスは随時見学受付中。高気密高断熱による快適な空間や多角形のパノラマウィンドウが特徴的。まずは気軽に問い合わせてみよう。

Company Limited

宮田工業株式会社 / ブルースジャパンMIYATA



☎026・285・6061

bj-miyata.com

✉info@bj-miyata.com

[施工エリア]

北信 東信 中信 南信 その他

■本社

☎026・285・6061 国長野市青木島町大塚131・1

■川中島モデルハウス

☎026・283・8855 国長野市川中島町上水鉦1302・2

“走る蓄電池”が
暮らしを豊かに

「V2H+太陽光発電」で 目指せ! 電気の自給自足!

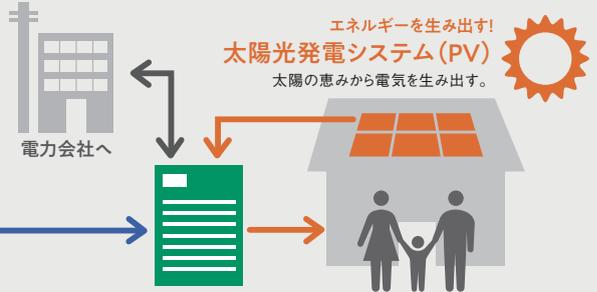
「V2H(ブイツーエイチ)」という言葉を知っていますか?コレは「Vehicle to Home(ビークルトゥ ホーム)」の略。簡単にいうと電気自動車(EV)に電気を蓄え、それを家庭で活用するための仕組みのことです。近年の電気代の高騰、自然災害の対策としても話題で、太陽光発電システム(PV)と組み合わせれば、電気代の節約や活用方法によっては電気エネルギーの自給自足が見込める場合も!そこで、すでに「V2H」を導入した活用事例を紹介します!

CHECK.1

V2Hの仕組み



走る蓄電池として大活躍!
電気自動車 (EV)
EVの蓄電池を住宅用蓄電池としても活用。車にも使えて1台2役。



電力を生かす心臓部
EV用パワーコンディショナー

「V2H」の心臓部とも言える機器。PVで発電した電気や電力会社から買った電気、EV蓄電池に貯めた電気のいずれもココを中継し、制御されているおかげでスムーズに使用できる。

CHECK.2

注目前から再生可能エネルギー「太陽光発電」を提案し続けている **先を見据えた宮田工業の実例** (竣工/2017年より)



■空調: 床下冷暖房システム



■HEMS
エネルギーを“見える化”したり設備機器を自動制御するHEMSを導入。効率的にエネルギーを使えて節電できるほか、iPadやスマホと連携させて日々の電気利用をチェック、出先でも操作可能!

HOUSING DATA	長野市 家族構成 / 夫、妻、長男、長女 構造・工法 / 木造枠組壁工法(2×6)	延床面積 / 132.68㎡(40.14坪) 1階 / 73.06㎡(22.10坪) 2階 / 59.62㎡(18.04坪)
--------------	---	--

CHECK.3

リアルな光熱費をチェック!

2023年4月~2024年3月の
電気料金合計…… **233,554円**
売電収入合計…… **77,812円**
電気代收支(12カ月)
155,742円の支払い

約7年目となる事例です。導入当初に比べ現在は売電価格は下がってしまいましたが、電気代高騰の現在、光熱費の節約に十分役立っています。また、当時の電気自動車に比べさらに蓄電できる自動車も増えていますので、本事例よりも結果が出ると考えられます。さらに、導入時の補助金をうまく活用することで設置コストも削減できます。節約だけではなく災害時も安心な設備です。この7年を通じ、使い方でより光熱費を節約できるご相談も可能です。百聞は一見に如かず!興味があればぜひご相談ください。

宮田工業株式会社 代表取締役社長 宮田宗一さん

